

令和 6 年 6 月 5 日現在

機関番号：14301

研究種目：基盤研究(C)（一般）

研究期間：2020～2023

課題番号：20K04738

研究課題名（和文）文化的景観概念に基づく景観形成システムの評価と再生に関する計画論的研究

研究課題名（英文）A study on landscape planning, evaluation, regeneration based on cultural landscape concept

研究代表者

山口 敬太（Yamaguchi, Keita）

京都大学・地球環境学堂・准教授

研究者番号：80565531

交付決定額（研究期間全体）：（直接経費） 3,200,000円

研究成果の概要（和文）：本研究は、国外において知見が蓄積されている文化的景観概念に基づく景観管理の概念や方法の議論を参照し、持続可能な景観形成システム構築のための景観評価の方法論を確立することを目的とし、研究を進めた。具体的には、（1）環境・産業・社会に関わる景観形成システムの歴史的变化過程を評価する手法の確立、（2）地域づくりの担い手の育成およびハード・ソフトプログラムの計画手法の構築のため、具体的な調査研究および実践を通じた検証を進めた。また、景観形成のメカニズムを把握し、計画するための方法論、さらには、地域・景観を支える担い手づくりや、多主体の連携・協働を生み出すための手法の開発を行い、多くの研究成果を得た。

研究成果の学術的意義や社会的意義

近年、世界遺産保護の取り組みをはじめ、文化的景観概念を援用した景観評価が進んでいるが、国内には知見が十分には蓄積されておらず、計画の理論化および実践が十分進んでいない。本研究はこれらの課題に対し、国際標準化しつつある文化的景観概念を援用した景観評価を行い、それを応用した計画論の確立を目指すものである。本研究で行ったいくつかの研究および実践は、今後の国内における景観政策や持続可能な地域づくりのモデルケースを取り上げており、その検証・実践を通じて、景観政策の可能性を切り拓いた。その学術上の意義は大きく、実務上の意義、有用性も大きい。

研究成果の概要（英文）：This research was conducted with the aim of establishing a methodology for landscape assessment for the construction of sustainable landscape management systems, by referring to discussions on concepts and methods of landscape management based on the cultural landscape concept, whose findings have been accumulated outside Japan. Specifically, we proceeded with verification through specific research and practice in order to (1) establish a methodology for evaluating the historical change process of the landscape system in relation to the environment, industry and society, and (2) establish a method for fostering community development leaders and planning methods. In addition, a methodology for understanding and planning the mechanisms of landscape management, as well as the development of methods for creating human capital that supports communities, and for creating cooperation and collaboration between multiple actors, were developed, and a number of research results were obtained.

研究分野：景観・デザイン

キーワード：文化的景観 まちづくり 地域再生 地域計画

1. 研究開始当初の背景

地域固有の歴史風土に根ざした地場産業や暮らしが作り上げた、わが国土の多様な地域文化をいかに継承するかという問題は、国土利用上、地域経営上重要な課題である。国外では、文化的景観概念に基づく景観管理の概念や方法の議論が蓄積され（『Cultural Landscapes, A Handbook for Conservation and Management』ユネスコ世界遺産センター発行、2015）、様々なプログラムが実施されている。また、欧州では47か国が批准する欧州景観条約に基づき、多くの国で国土レベルでの景観管理が進められている。また、持続可能な地球社会の実現に向けた研究プラットフォームづくりが進められ、学際的な研究者コミュニティと地域のステークホルダーが協働し、研究テーマの選定・計画立案から協働、成果の社会実装が進められている。地域の持続性を確保するための具体的方法論の確立は、全世界的課題である。

一方、国内においても文化的景観の保護・活用の現場において、学術調査による景観の価値評価に基づいた、攻め（価値創造）の地域づくりと、そのための多主体協働が試みられている。しかし、持続可能な景観形成システム構築のための景観評価と、それに基づいた景観管理については、理論的な知見の蓄積が十分でない。わが国においても、一般的な景観地への適用とそのため景観評価手法の確立、わが国の計画・制度に適したハードとソフトを統合する計画システムの確立が喫緊の課題である。

本研究はこれらの課題に対し、文化的景観概念を援用した景観評価を行い、それを応用した計画論の確立を目指すものである。また、今後の国内における景観政策や持続可能な地域づくりのモデルケースをつくること、そしてこれらを通じて、景観政策の転換を図ることを目的としている。

2. 研究の目的

本研究は以上に述べた背景に対して、大きく2つの研究目的を掲げる。

- 1) 環境・産業・社会に関わる景観形成システムの歴史的变化過程を評価する手法を確立する。これにより景観の固有性を明らかにするとともに、景観形成のメカニズムを把握し、変化を予測し、脆弱性を補強する方法論を確立する。
- 2) 地域づくりの担い手の育成およびハード・ソフトプログラムの計画手法を構築する。実際のフィールド調査および実践のなかで、地域・景観を支える担い手づくりや、多主体の連携・協働を生み出すための手法の開発を行う。

3. 研究の方法

本研究課題はフィールド調査と社会実践に基づき実施する。具体的な方法は以下の通りである。

① 持続可能な景観形成システムの構築を目的とする景観評価の方法論の確立

1) 景観形成システムの歴史的变化過程の評価手法の開発

いくつかの具体的な対象地を取り上げ、環境史・産業史・社会史の観点から景観形成のシステムとしての読み取りを行い、その歴史の変遷の分析による景観評価の方法論の開発を行う。加えて、システム上の課題の把握を通じて持続性の評価を行い、システム再生のための知見を得る。また、経済圏・文化交流の観点からみた広域の地域圏の構造と背景を、歴史的形成過程を読み解き評価する。これにより広域の地域圏のアイデンティティを活性化させ、地域間交流を実現するストーリーづくりのための根拠を得る。研究方法は、文献資料・統計資料調査、ステークホルダーへの聞き取り調査が主である。

2) 地域社会の構造と地域認識に基づく景観形成の持続可能性評価手法の開発

主要なステークホルダーへの聞き取り調査により、持続可能な地域づくりを支えるコミュニティ形成基盤の読み解き（地域活動、関係資本等）、住民による地域認識（価値意識）を把握し、景観形成の持続可能性の評価を行う。

② 持続可能な景観形成を目的とするハード・ソフトプログラムの計画手法の確立

1) 景観形成支援方策としての社会基盤整備の効果

認定歴史的風致維向上計画に対する各種支援制度、街なみ環境整備、文化的景観保護推進事業等の方策が、景観形成にどのように影響を与えたかについての中長期の検証を行うとともに、ハ

ード・ソフトの計画的課題の整理を行う。

2) 地域と景観を支える担い手づくりのための手法開発

景観の保存管理計画の策定や、まちづくりビジョンの策定、景観協議体制の方法を含む景観計画の運用等の協働的实践において、新たな住民参加手法を導入し、そのプロセスの記録と分析・考察により、地域内外の多様な主体の連携・協働の発生メカニズムを検討する。また、地域づくりの担い手育成のための、場づくりの効果の検証、プロセスデザインの方法の検討を行う。

4. 研究成果

本研究課題における具体的な研究対象および成果は以下の通りである。

- ① 風致地区や歴史的風土保存区域・歴史的風土特別保存地区に指定されている京都市の山辺・水辺の景観を対象に、その価値形成および保全制度の形成過程について研究を行った。また、景観保全のための仕組みづくりについての調査研究を行った。
- ② 兵庫県・揖保川流域圏を対象に、醸造業・素麺業、原材料生産の歴史と、歴史的建造物および集落景観の分析を行った。なかでも、兵庫県たつの市龍野地区における空き家活用・再生の実態を明らかにし、その特徴的なスキームや工夫点について明らかにした。また、姫路市網干地区を対象に、歴史的建造物および集落景観の調査を行った。その成果をふまえて、地域協働による地域資源の調査を行い、その成果を『発見！網干遺産』として刊行した。また、その地域協働のプロセスを検証し、その成果をとりまとめた。
- ③ 国の重要文化的景観選定のための調査を進めている京都府・宇治茶の主要生産地である和束町において、茶生産システム（生産・加工・流通）と関連する集落景観の評価を行った。
- ④ 東近江市永源寺地域を対象に、集落景観の調査を行った。また、UAV-SfM による三次元復元技術を用いた集落景観の記録とその調査手法の有効性についての検討を行った。
- ⑤ 近江八幡市の安土地区において、住民参加による地区別将来ビジョンの策定を進めた。まずは、西の湖およびその沿岸について、その保全・活用案に関する調査検討を行った。その成果をふまえて、地域住民とワークショップを開催し、協働での社会実験を実施した。また、その地域協働のプロセスを検証し、その成果をとりまとめた。

以上の、研究活動に基づき、本研究では、(1) 環境・産業・社会に関わる景観形成システムの歴史的変化過程を評価する手法の確立、(2) 地域づくりの担い手の育成およびハード・ソフトプログラムの計画手法の構築を目指して、これらの検討を行った。なかでも、実際のフィールド調査および実践のなかで、地域・景観を支える担い手づくりや、多主体の連携・協働を生み出すための手法開発を行った。

<参考文献>

査読付論文

- ・「旧龍野城下町における歴史的地区の古民家再生とまちづくり会社の役割」溝口徳昭, 山口敬太, 谷川陸, 川崎雅史: 都市計画論文集, 58 巻, 3 号, pp.1584-1591, 2023
- ・「和歌にみる京都西山の景物と場所のイメージに関する研究 ―領域性とその時代変化に着目して―」田中椋, 山口敬太, 川崎雅史: 土木学会論文集 D1(景観・デザイン), Vol.78, No.1, pp.84-95, 2022
- ・「旧淀川(大川)河川沿公園形成史: 明治期以後の公園計画の展開と実現過程」萩原啓介, 山口敬太, 川崎雅史: 土木学会論文集 D2(土木史), Vol.78, No.1, pp.76-95, 2022
- ・「京都大水害後の鴨川改良計画における中流断面及び東岸遊歩道路の風致設計」谷川陸, 林倫子, 山口敬太, 川崎雅史: 土木学会論文集 D2(土木史), Vol.78, No.1, pp.59-75, 2022
- ・「近代京都の随筆にみる風景記述の特徴 ―感覚表現とその共起性に着目して―」田中椋, 山口敬太, 川崎雅史: 土木学会論文集 D1(景観・デザイン), Vol.78, No.1, pp.49-63, 2022
- ・「大正期の京都三山の鋼索鉄道建設にみる眺望景観評価に基づく風致保全」谷川陸, 山口敬太, 川崎雅史: 土木学会論文集 D1(景観・デザイン), Vol.78, No.1, pp.31-48, 2022
- ・「近代京都の東山開発における風致保存とその方策 ―免許・工事施工認可申請書にみる索道計画とその対応―」谷川陸, 山口敬太, 川崎雅史: 都市計画学会論文集, Vol.56, No.2. pp.403-

412, 2021

- ・「日常生活圏における場所経験価値の評価手法に関する研究」湯川竜馬, 山口敬太, 久保田善明, 川崎雅史: 土木学会論文集 D1 (景観・デザイン), Vol.77, No.1, pp.1-16, 2021
- ・ "The multivalent nexus of redevelopment and heritage conservation: A mixed-methods study of the site-level public consultation of urban development in Macao" Yongcheng Wang, Keita Yamaguchi, Yiik Diew Wong: Land Use Policy, Volume 99, December 2020
- ・「戦前期京都風致地区内の宅地造成の許可・指導にみる景観形成と技術的方策」谷川陸, 山口敬太, 川崎雅史: 土木学会論文集 D1 (景観・デザイン), Vol.76, No.1, pp.44-58, 2020

雑誌

- ・「安土未来づくりー地域資源の協働管理へ向けて」山口敬太, 造景 2023, pp.20-21, 建築資料研究社, 2023.8
- ・「地域資源共同管理のプロセス・デザイン論に関する研究(概要)」山口敬太, Urban study 76, pp.19-31, 2023
- ・「地域のなかの場所の価値と計画ー環境ーことー解釈の関係を手がかりとした「ことづくりへ」」山口敬太, 都市計画, No.357, pp.18-21, 日本都市計画学会, 2022.7
- ・「公共デザインの未来: 地域・都市の持続と活性化を実現するために」土木学会誌, Vol.106(4), 特集「30代の土木」, pp.37-39, 2021.4

講演集

- ・「昭和初期における体験主義に基づく郷土教育の理論と実践手法」(優秀講演賞受賞) 寺崎真由, 山口敬太, 谷川陸, 川崎雅史, 景観・デザイン研究講演集 No.19, pp.240-246, 2023
- ・「UAV-SfMによる三次元復元技術を用いた集落景観の記録手法についての基礎的考察」田中椋, 毛利祐輝, 山口敬太, 川崎雅史, 景観・デザイン研究講演集 No.19, pp.197-202, 2023
- ・「古民家再生事業を核とした DMO の自主財源開発と事業展開プロセス」中田諒, 谷川陸, 山口敬太, 川崎雅史, 都市計画報告集 22(2), 356-359, 2023
- ・「近世初期風俗画にみる京都の都市空間における人の活動の特徴」徳井夢有人, 山口敬太, 谷川陸, 川崎雅史, 都市計画報告集 22(2), 364-367, 2023
- ・「桂川嵐山地区における可動式止水壁に基づく河川と景観の整備」中村恭輔, 山口敬太, 川崎雅史, 土木計画学研究・講演集 Vol.66, 論文番号 9-12, 2022
- ・「勅撰和歌・漢詩集にみる場所イメージの形成過程ー平安京南部の水辺の別業を対象としてー」田中椋, 山口敬太, 川崎雅史, 景観・デザイン研究講演集 No.16, pp.100-106, 2021年12月
- ・「地域資源協働管理システムの構築に向けて」山口敬太, 土木計画学研究・講演集 Vol.64, No.30-5, pp.1-6, 2021年11月
- ・「多様な主体の協働による資源循環型農業の成立とメディアエーターの役割ー京都市北嵯峨・歴史的風土特別保存地区内の景観保存の取組」渡邊大郎, 山口敬太, 谷川陸, 都市計画報告集 No.20, pp.265-269, 2021年8月
- ・「近江八幡旧市街地における古民家利活用のプロセスと成立要件に関する研究」溝口徳昭, 谷川陸, 山口敬太, 川崎雅史, 日本都市計画学会関西支部研究発表会講演概要集 19(0), pp.41-44, 2021
- ・「散歩道に着目した地域の体験価値に関する研究」中村太郎, 田中椋, 山口敬太, 川崎雅史, 日本都市計画学会関西支部研究発表会講演概要集 19(0), pp.133-136, 2021

5. 主な発表論文等

〔雑誌論文〕 計27件（うち査読付論文 11件 / うち国際共著 0件 / うちオープンアクセス 11件）

1. 著者名 谷川陸, 山口敬太, 川崎雅史	4. 巻 78-1
2. 論文標題 大正期の京都三山の鋼索鉄道建設にみる眺望景観評価に基づく風致保全	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 土木学会論文集D1(景観・デザイン)	6. 最初と最後の頁 31-48
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.2208/jscejaie.78.1_31	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 田中椋, 山口敬太, 川崎雅史	4. 巻 78-1
2. 論文標題 近代京都の随筆にみる風景記述の特徴 - 感覚表現とその共起性に着目して -	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 土木学会論文集D1(景観・デザイン)	6. 最初と最後の頁 49-63
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.2208/jscejaie.78.1_49	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 谷川陸, 林倫子, 山口敬太, 川崎雅史	4. 巻 78-1
2. 論文標題 京都市大洪水後の鴨川改良計画における中流断面及び東岸遊歩道路の風致設計	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 土木学会論文集D2(土木史)	6. 最初と最後の頁 59-75
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.2208/jscejhsce.78.1_59	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 萩原啓介, 山口敬太, 川崎雅史	4. 巻 78-1
2. 論文標題 旧淀川(大川)河川沿公園形成史: 明治期以後の公園計画の展開と実現過程	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 土木学会論文集D2(土木史)	6. 最初と最後の頁 76-95
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.2208/jscejhsce.78.1_76	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 田中 椋, 山口敬太, 川崎雅史	4. 巻 78-1
2. 論文標題 和歌にみる京都西山の景物と場所のイメージに関する研究 - 領域性とその時代変化に着目して -	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 土木学会論文集D1(景観・デザイン)	6. 最初と最後の頁 84-95
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.2208/jscejaie.78.1_84	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 山口敬太	4. 巻 357
2. 論文標題 地域のなかの場所の価値と計画 環境 - こと - 解釈の関係を手がかりとした「ことづくり」へ	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 都市計画	6. 最初と最後の頁 18-21
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 中村恭輔, 山口敬太, 川崎雅史	4. 巻 66
2. 論文標題 桂川嵐山地区における可動式止水壁に基づく河川と景観の整備	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 土木計画学研究・講演集	6. 最初と最後の頁 1-8
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 谷川陸, 山口敬太, 川崎雅史	4. 巻 41
2. 論文標題 戦前期京都の山地における鋼索鉄道の形成と風致保全方策	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 土木史研究講演集	6. 最初と最後の頁 167-176
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 秋原啓介, 山口敬太, 川崎雅史	4. 巻 41
2. 論文標題 旧淀川大川における河岸利用の変遷と河岸公園の形成	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 土木史研究講演集	6. 最初と最後の頁 117-126
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 渡邊大郎, 山口敬太, 谷川陸	4. 巻 20
2. 論文標題 多様な主体の協働による資源循環型農業の成立とメディアイーターの役割 -京都市北嵯峨・歴史的風土特別保存地区内の景観保存の取組	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 都市計画報告集	6. 最初と最後の頁 265-269
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 田中 稜, 山口敬太, 川崎雅史	4. 巻 16
2. 論文標題 勅撰和歌・漢詩集にみる場所イメージの形成過程 - 平安京南部の水辺の別業を対象として -	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 景観・デザイン研究講演集	6. 最初と最後の頁 100-106
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 谷川陸, 山口敬太, 川崎雅史	4. 巻 56
2. 論文標題 近代京都の東山開発における風致保存とその方策 - 免許・工事施工認可申請書にみる索道計画とその対応 -	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 都市計画学会論文集	6. 最初と最後の頁 403-412
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.11361/journalcpj.56.403	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 湯川 竜馬, 山口 敬太, 久保田 善明, 川崎 雅史	4. 巻 77
2. 論文標題 日常生活圏における場所経験価値の評価手法に関する研究	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 土木学会論文集D1 (景観・デザイン)	6. 最初と最後の頁 1-16
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.2208/jscejaie.77.1_1	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 谷川 陸, 山口 敬太, 川崎 雅史	4. 巻 76
2. 論文標題 戦前期京都風致地区内の宅地造成の許可・指導にみる景観形成と技術的方策	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 土木学会論文集D1 (景観・デザイン)	6. 最初と最後の頁 44 ~ 58
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.2208/jscejaie.76.1_44	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Wang Yongcheng, Yamaguchi Keita, Wong Yiik Diew	4. 巻 99
2. 論文標題 The multivalent nexus of redevelopment and heritage conservation: A mixed-methods study of the site-level public consultation of urban development in Macao	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Land Use Policy	6. 最初と最後の頁 105006 ~ 105006
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.landusepol.2020.105006	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 YUKAWA Ryoma, YAMAGUCHI Keita, KUBOTA Yoshiaki, KAWASAKI Masashi	4. 巻 77
2. 論文標題 日常生活圏における場所経験価値の評価手法に関する研究	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 土木学会論文集D1 (景観・デザイン)	6. 最初と最後の頁 1 ~ 16
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.2208/jscejaie.77.1_1	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 溝口徳昭, 山口敬太, 谷川陸, 川崎雅史	4. 巻 58
2. 論文標題 旧龍野城下町における歴史的地区の古民家再生とまちづくり会社の役割	5. 発行年 2023年
3. 雑誌名 都市計画論文集	6. 最初と最後の頁 1584 ~ 1591
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.11361/journalcpj.58.1584	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 山口敬太	4. 巻 2023
2. 論文標題 安土未来づくりー地域資源の協働管理へ向けて	5. 発行年 2023年
3. 雑誌名 造景	6. 最初と最後の頁 20-21
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 山口敬太	4. 巻 76
2. 論文標題 地域資源共同管理のプロセス・デザイン論に関する研究	5. 発行年 2023年
3. 雑誌名 Urban study	6. 最初と最後の頁 19-31
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 山口敬太	4. 巻 106
2. 論文標題 公共デザインの未来 : 地域・都市の持続と活性化を実現するために	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 土木学会誌	6. 最初と最後の頁 37-39
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 寺崎真由, 山口敬太, 谷川陸, 川崎雅史	4. 巻 19
2. 論文標題 昭和初期における体験主義に基づく郷土教育の理論と実践手法	5. 発行年 2023年
3. 雑誌名 景観・デザイン研究講演集	6. 最初と最後の頁 240-246
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 田中椋, 毛利祐輝, 山口敬太, 川崎雅史	4. 巻 19
2. 論文標題 UAV-SfMによる三次元復元技術を用いた集落景観の記録手法についての基礎的考察	5. 発行年 2023年
3. 雑誌名 景観・デザイン研究講演集	6. 最初と最後の頁 197-202
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 中田諒, 谷川陸, 山口敬太, 川崎雅史	4. 巻 22-2
2. 論文標題 古民家再生事業を核としたDMOの自主財源開発と事業展開プロセス	5. 発行年 2023年
3. 雑誌名 都市計画報告集	6. 最初と最後の頁 356-359
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 徳井夢有人, 山口敬太, 谷川陸, 川崎雅史	4. 巻 22-2
2. 論文標題 近世初期風俗画にみる京都の都市空間における人の活動の特徴	5. 発行年 2023年
3. 雑誌名 都市計画報告集	6. 最初と最後の頁 364-367
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 山口敬太	4. 巻 64-30-5
2. 論文標題 地域資源協働管理システムの構築に向けて	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 土木計画学研究・講演集	6. 最初と最後の頁 1-6
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 溝口徳昭, 谷川陸, 山口敬太, 川崎雅史	4. 巻 19
2. 論文標題 近江八幡旧市街地における古民家利活用のプロセスと成立要件に関する研究	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 日本都市計画学会関西支部研究発表会講演概要集	6. 最初と最後の頁 41-44
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 中村太郎, 田中椋, 山口敬太, 川崎雅史	4. 巻 19
2. 論文標題 散歩道に着目した地域の体験価値に関する研究	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 日本都市計画学会関西支部研究発表会講演概要集	6. 最初と最後の頁 133-136
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

〔学会発表〕 計0件

〔図書〕 計0件

〔産業財産権〕

〔その他〕

-

6. 研究組織

氏名 (ローマ字氏名) (研究者番号)	所属研究機関・部局・職 (機関番号)	備考
---------------------------	-----------------------	----

7. 科研費を使用して開催した国際研究集会

〔国際研究集会〕 計0件

8 . 本研究に関連して実施した国際共同研究の実施状況

共同研究相手国	相手方研究機関
---------	---------